

〔榮花物語玉の十二〕長和五年正月十九日、御讓位略○中 二月九日、御即位なり、帝一○後 九にならせ給略○中 御そくゐに大極殿にわたらせ給へるに、御びづらゆはせ給へるほど、いみじうつくしきものゝめでたくおはします、

〔古事談王道后宮〕後朱雀院御即位、内辨ニテ大二條殿藤原子ヲセ給ヒケルヲ、宇治殿藤原大極殿ノ辰巳ノスミ、壇上ニテ御覽ジテ、アハレ、 狛人ニミセバヤト被仰ケリ、玉冠ニサガリタル玉ドモ、チリウチリウトナル程ニ如法令練給ケリ、

〔榮花物語三十六〕寛徳二年正月十六日に位ゆづりの事ありて、略○中 四月八日には御即位冷泉○後あり、のこる人なくみる、もんいるほどたまのかうぶりして、あぐらどものうへにゐなみたる、からゑのこちしてにようばうなどは吉につきてさぶらふ、べんのめのとないしのすけになりて、その日の御まかなひし給ふ、めでたしなども世のつねなり、丹波のめのとほ、まさみちの中將のむすめ、宰相のめのとほ、故致仕の大納言のむさご、びせんのかみなかつねのむすめなり、さるべき人々でんじやう人などはなををりたるこゝちしてめでたし、御こしよするほど御めのとたちいかなりけん、あさ日のかやきいづるをみるこゝちす、ことしぞ廿一にならせ給ける、略○中 命婦藏人十人は禮服とて、あかいろのからぎぬのそでひろきをぞきたる、いま十人はすりからぎぬきつゝ、かみあげてならびさぶらふ、ぬぎのみこ、とばりあげなせ、れいのことなり、京極殿におはします、寢殿を南殿にて、にしのをせいでんにまたり、きたのたいに一ほんのみやおはします、きたの一のたいをないしとこゝろなせにまたり、にしの中門のらうを陣の座にまたり、いみじの京極どのゝありさまや、みかどみとこゝろ、ささきみとこゝろたゝせ給ぬ、又も一ほんのみやたゝせ給べかめり、

〔申右記〕嘉承二年十二月一日壬午、略○中 申刻御即位、大極殿諸門諸陣裝束一如式、子細見指圖、略○中